

## 議会PR委員会会議録（要点筆記）

令和6年10月8日（火）  
午後2時00分 開会  
場所 議会会議室

### ○芳金秀展委員長

ただ今から、議会PR委員会を開催します。

全員協議会に引き続きとなりますが、よろしくお願いします。

協議題 1「意見交換会について」を議題とします。前回の委員会にて、半田工科高等学校との意見交換会につきまして調整をさせていただきました候補日を学校に連絡をしたところ、「都市工学科」の生徒との意見交換会が可能との連絡をいただきました。今後、今月16日（水）に正副委員長及び担当書記にて、学校と打合せを行い、開催日時、テーマや進め方につきまして、決定することとなりましたのでご承知おきください。委員の皆さまには、後日、打合せ内容について報告をさせていただきます。なお、意見交換会の方法等に関する調整については、正副委員長に一任いただきたいと思いますと考えますが、よろしいでしょうか。

【「異議なし」との声あり】

ありがとうございます。

それでは、そのように進めさせていただきます。改めてとなりますが、意見交換会につきまして、委員の皆さまからご意見がありましたら、お願いします。しばらく休憩します。

午後 2時 2分 休憩

午後 2時17分 再開

### ○芳金秀展委員長

会議を再開します。

休憩中に皆さまからいただいた今回、意見交換会を行うきっかけを作ることはできたが、実施するからには、議会の総意として行う必要があり、意見交換を行う目的や議会の立ち位置をしっかりとしておく必要がある点、また、上から目線にならず一緒に考えてほしい、という姿勢で臨むことが必要だと考えられる、などの意見を踏まえて、工科高等学校との意見交換会を実施していきたいと思います。対象学年、参加人数、時間やテーマなどは今後、調整となるため、次回の委員会にて報告させていただきます。

次に、協議題2「PR戦略について」を議題とします。前回の委員会にて、参考として紹介しました、さいたま市議会が作成している議会だより「ロクマル」に関し、発行部数や予算等について、まとめたものは資料とおりです。事務局から説明をお願いします。

### ○担当書記

さいたま市は、政令指定都市の1つであり、9月1日時点の人口は約135万人、世帯数は約65万世帯、直近に発行した市議会だよりの発行部数は、64万6千部となっています。作成にあたり、企画編集、印刷製本、配布といった3本立ての予算となっており、予算規模は総額5千万円以上となります。情報発信の現状としては、紙媒体での活用が多いとのことでしたが、今後に向け、電子媒体を活用することを意識し、電子媒体に誘導する二次元コードを入れたポップ表示を用いることを始めた、とのことでした。また、さいたま市は10行政区に分かれていることから、表紙を作成するにあたり、テーマを決め、10行政区のそれぞれのイメージに沿ったものを作成し、一巡する方法をとっている、とのことでした。

### ○芳金秀展委員長

規模等、本市とは大きく異なる点がありますが、限られた紙面の有効活用としては、参考になると思います。本日は、委員の皆さまからアイディアを伺い、いただいたアイディアをもとに今後協議をしていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○澤田勝委員

全国の議会が作成している「議会だより」を拝見すると、比較的、町議会のだよりが力を入れているように感じました。その中で、栃木県さくら市議会のホームページに掲載されている議会だよりは、情報量が多い内容については、ＱＲコードを用いてより詳しい情報を掲載している場所へ案内している点、また、表紙写真などの掲載写真については、委員が市内に出向いて写真を撮っている点、議員が活動していることが発信されている点が特徴的であり、全体的に見やすく、議会が活動していることが読んでいる方に伝わると感じました。

○加藤美幸委員

安城市議会のホームページが充実していると感じました。議員作成なのか、事務局職員作成なのかは不明ですが、ＩＣＴを駆使していると感じました。

○芳金秀展委員長

作成方法については、安城市議会に確認をして、次回の委員会にて報告したいと思います。

○新美保博委員

本市議会のように議会ＰＲ委員会として設置している議会が珍しく、本委員会が充実することによりＰＲに繋がる、ＰＲされていくのではないかと思います。ＰＲするための媒体が紙なのか、電子なのかの違いであり、その過程にどのようなことが生じ、結果としてどうなったかをしっかりと伝えていくことでＰＲになるのではと考えます。

○小出義一委員

何に興味を持てただけのかがポイントではないかと思います。今回行く高校生との意見交換会で出された意見の中で、こういうことが実現したということがたくさん生じると、興味がわいてくるのではないかと思ったので、広報誌では、伝えたい中身を考えることが重要であると思います。

○芳金秀展委員長

ありがとうございます。これまでの一方通行の発信から、ＳＮＳの普及に伴い、双方向でやりとりが可能となり、情報を瞬時に得ることができるようになった現代ですが、次に求められる情報のやりとりは、もしかすると、再び対面で、互いの温度感を感じられる方法になるのではないかと考えています。そのためには、情報をいかに届けていくのか、が重要だと考えます。繰り返しますが、本日いただいたアイディアやご意見をもとに、議会の広報におけるＰＲ戦略提案としての提言に向け、協議をまとめていきたいと思います。

このほかに何かありますか。

【「なし」との声あり】

ないようですので、次に移ります。次に、協議題３「その他について」を行います。次回の委員会は、１１月１２日（火）全員協議会終了後となりますので、よろしくお願いします。他に何かご発言がありましたらお願いします。

【「なし」との声あり】

ないようですので、本日の委員会はこれで閉会します。

午後２時５２分 閉会